

研修医の手記

佐藤 純一郎



釧路での研修生活

本年度4月より市立釧路総合病院で初期臨床研修医としてお世話になっております、佐藤純一郎と申します。この度は連携ニュース「春湖台」にてご挨拶の機会を

いただき、誠にありがとうございます。

私は以前、医療とは全く違う世界で過ごしていたため医師としては遅めのスタートを切りましたが、他の研修医に負けにくい、気持ちだけは若く、何事にも積極的に取り組むという姿勢を崩さぬよう心がけています。空回りすること多いですが、地域の温かい患者の皆様や先生方を始めとした病院スタッフの皆様のご厚意に支えられながら、日々勉強させていただいております。

道東地域の基幹病院として地域完結型医療を目指し、また高度医療・救急医療を充実させようと注力している市立釧路総合病院で学ばせていただきたいと思い、念願かなって4月より勤務させていただくことになりました。釧路で新生活が始まって3か月ほど経ちましたが、海のない街で育ったので毎日新鮮な気持ちになります。

さて、新型コロナウイルスの影響で道内は厳戒態勢です。今まで当たり前だったことができなくなり、ある意味では非日常が日常となってしまいました。研修生活のスタートとしては順風満帆とはいかず不自由を感じることもありますが、むしろ貴重な経験を積んでいると思います、2年間の研修生活を通して医師としてだけでなく、ひとりの人間として成長するとともに、少しでも地域の皆様の健康に貢献出来たらと考えています。何卒よろしく願いいたします。

エキスパートナース紹介 Part.20



みなさん、こんにちは。

がん放射線療法看護認定看護師の上村です。2019年7月に認定看護師の資格を取得し、現在は放射線治療科外来に勤務しています。

当院の放射線治療の歴史は長く、昭和44年以来、道東地域において外部照射はもちろん、子宮頸がんへの腔内照射も行っています。放射線治療は、ターゲット（悪性腫瘍、良性腫瘍、ケロイドなど）への局所治療のため、合併症がある方や高齢者の需要は年々高まっています。

がん放射線療法看護認定看護師として、日々、放射線治療を選択された患者・家族へ治療が完遂できるように、身体的苦痛とそれに伴う精神的な不安に寄り添い、適切なタイミングで個々に合わせた支援を実践しています。安全に治療を受けるために、治療寝台に数十分～数時間寝ていられるか、疼痛はコントロールされているか、照射歴の有無など事前に得た情報の共有に努めています。

また、治療を受ける方でよく耳にするのは、「治療中に孫を抱っこしてもいいですか?」「脱毛はするの?」という質問です。放射線＝被ばくというイメージを持ち、診察に来られる方も少なくありません。治療前にしっかりと正しい知識を持ち、安心して受けられるようなサポートも欠かせません。

当科診療は今年度4月より常勤医師が着任しました。今後は、放射線腫瘍医・医学物理士・放射線技師と一緒に、安全・安心して治療が受けられるよう連携し、専門性の高いケアを行っていくと共に、院内において横断的に放射線治療の知識の普及に取り組んでいきたいと思っています。

がん放射線療法看護認定看護師 上村 華織



ごあいさつ



市立釧路総合病院 院長

高平 真

新年度を新型コロナウイルスの世界的な蔓延という異常事態の中で迎えることになりました。誰もが予期しなかった脅威に住民の皆様はじめ各医療機関がその対応に悪戦苦闘している毎日かと思えます。当院も感染症指定病院、自治体病院としての使命感のもと全職員の協力を得てこの戦いに臨んでおります。当初より国はかかりつけ医や保健所に相談するようにと通達したことで、かかりつけ医の重要性が改めて認識されました。当地でも医師会や各医療機関、保健所、行政との情報共有と診療協力が円滑に進んだことは日ごろからの連携の賜物と感じております。また、管内唯一の感染症指定病院である当院に対し多くのご支援や励ましをいただき感謝申し上げます。先が見えない長い戦いとなることを覚悟し職員一丸となって戦っていく所存です。

このような中で釧路地域の32万人の住民の皆様が安心して生活をおくれるように地域の医療機関、介護施設や住民の皆様、行政とも今まで以上に連携を深め、日々の研鑽を怠らず、高度医療提供体制の継続と進化に努力してまいりたいと思います。

重ねまして、関係各機関のご理解とご協力をお願いいたします。

理念「信頼と満足の創造」

経営方針

- 十分な説明のもとに患者の意思を尊重し、患者中心の医療を行います。
- 地域完結医療を目指し、高度医療・救急医療を充実します。
- 地域医療を支援するため、病診連携を密にします。
- 心温かな質の高い医療サービスを実践するため、日々研鑽します。
- 良識と協調性のある医療人として、意欲と誇りの持てる職場環境づくりに努めます。



市立釧路総合病院

発行責任 広報委員会

〒085-0822 釧路市春湖台1番12号

TEL(0154)41-6121・FAX(0154)41-6511

就任のご挨拶

市立釧路総合病院 事務部長 菅谷 和幸



令和2年5月1日付で事務部長を拝命いたしました、菅谷和幸と申します。

1982年に市職員として採用され、1992年に病院総務課に勤務以来、経営企画課や医療管理課(旧医事課)を経験し、諸先輩からの温かい?指導や同僚からの沢山の助けを受けながら、気が付けば、本年で病院勤務28年目を迎えました。

この間、様々な出来事がありましたが、改めて人と人との繋がりに感謝しているところです。また、現在、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスへの対応では、この地域で唯一の感染症指定医療機関としての使命感のもと、全職員が一丸となって対応に当たる姿は、医療従事者としての誇りと責任感の強さを感じています。

さて、事業がストップし2年を経過した新棟建設についてですが、この地域での完結型医療を将来にわたって維持していくため、釧路圏域地域医療構想調整会議などでの協議や合意を得た上で、救急医療、高度医療、がん医療、周産期・小児医療などの充実を図り、地域災害拠点病院としての機能を強化するための新棟建設の方向性を、本年9月にお示しさせて頂く予定です。

最後になりますが、地域の医療機関や介護施設などとの連携を一層、深めながら、釧路・根室三次医療圏の地方センター病院として、地域住民の皆様が安全で安心な医療が受けられるよう、今後も中核的な医療機関としての役割を担って参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

市立釧路総合病院 看護部長 藤原 智恵美



本年5月に看護部長に就任しました藤原智恵美と申します。どうぞよろしくお願いたします。

医療は、治るまで病院に入院して治療をする「病院完結型」の医療から、住み慣れた地域や自宅での生活を支える「地域完結型」の医療へ変化しています。

当院は、釧路地域で、急性期医療を中心とした釧路市唯一の自治体総合病院として、釧路・根室の三次医療圏として地方センター病院の役割を担い、地域の皆様の生命と健康を維持し、安心・安全な医療の提供はもとより、高度医療を提供する役割を担っている医療機関であります。

このような中、看護の現場でも、専門性の高いスキルから在宅医療、地域との連携強化など、多岐にわたる役割が求められていることから、2018年10月より患者支援センターを設置し、入院前から安心して入院していただけるよう支援に努めており、地域との連携を一層強化するために、退院支援にも力を入れ、退院後も安心して生活できるように、つながる看護に努力を致しております。

更に、看護部の職員がそれぞれに患者さんと誠実に向き合い、地域の皆様が安心して治療を受けることができるように、安心・安全な環境を確保し、看護理念である「個人の尊重と心のこもった看護」を実現するため、日々努力をしています。

また、看護職員が安心して働き続けられるような職場環境整備を図っていくためにも、看護部長として『いつも笑顔で生き活きと』をモットーに職員と共に明るく、風通しの良い職場環境作りに努めたいと考えております。

現在、新型コロナウイルス蔓延により、医療従事者として大変な危機感を感じているところであり、感染指定医療機関としての役割を果たすためにも、看護部のみならず、医師、医療スタッフ、事務部などとの連携を一層深め、組織一体となって取り組んでいき、地域でコロナに勝つという意気込みでこの課題解決に臨みたいと考えております。今度ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願致します。

— 釧路市立高等看護学院 新校舎落成 —

待望の校舎が2月に完成して以来、多くの方々の協力のもと、早期に無事移転することが出来ました。しかし、いざ本格的に使用開始というときに新型コロナウイルス感染症の影響もあり、拡大防止という観点から止むを得ず臨時休業することとなりました。休業中に校舎内の整備を十分行い、最大限の感染予防策を講じたことにより、規模縮小せざるを得ませんでした、その甲斐あって卒業式と入学式を新校舎の体育館で開催することが出来ました。

緊急事態宣言一部解除を受けて以来5月末まで分散・遠隔授業を行ってきましたが、新校舎内には、今までにない広い部屋があることでクラスター感染の防止が出来、感染対策が講じ易い状況です。

学生たちが「新しい香りがする」「木がふんだんに使用されている」等とても嬉しそうに話しているのを見ると、学生が登校していなかった校舎は寂しく、現在のように3学年揃って看護の勉強が出来ることを大変喜ばしく思っています。また学生皆が、学習意欲を高めていることも、教職員一同日々感じております。

病院関係者及び卒業生にもゆつくりと新校舎を見ていただきたいのですが多数での行動は良くない生活様式となりましたので、今後終息された時には是非新校舎に足を運んでいただきたいと考えております。お待ちしております。



New Campus!

